

令和7年白老町議会議案説明会会議録

令和7年2月21日（金曜日）

開 会 午前10時00分

閉 会 午前11時20分

○議事日程

1. 白老町議会定例会3月会議議案説明
-

○会議に付した事件

1. 白老町議会定例会3月会議議案説明
-

○出席議員（14名）

1番 水口光盛君	2番 田上治彦君
3番 氏家裕治君	4番 長谷川かおり君
5番 飛島宣親君	6番 前田弘幹君
7番 森山秀晃君	8番 佐藤雄大君
9番 前田博之君	10番 貳又聖規君
11番 森哲也君	12番 西田祐子君
13番 広地紀彰君	14番 小西秀延君

○欠席議員（なし）

○説明のため出席した者の職氏名

総務課長	鈴木徳子君
企画財政課長	増田宏仁君
政策推進課長	太田誠君
税務課長	高尾利弘君
町民課長	久保雅計君
健康福祉課長	渡邊博子君
子育て支援課長	齋藤大輔君
高齢者介護課長	森誠一君
生活環境課長	工藤智寿君
経済振興課長	三上裕志君
農林水産課長	菊池拓二君
建設課長	瀬賀重史君

上下水道課長	山本康正君
学校教育課長	富川英孝君
生涯学習課長	伊藤信幸君
消 防 長	本間佳令君
病院事務長	本間 力君
病院参事	温井雅樹君

○職務のため出席した事務局職員

事務局 長	本間弘樹君
主 幹	小山内 恵君

◎開会の宣告

○議長(小西秀延君) これより昨日に引き続き定例会3月会議の議案説明会を開催いたします。
(午前10時00分)

○議長(小西秀延君) 日程第1、議案第7号 令和7年度白老町国民健康保険事業特別会計予算、議案の説明をお願いいたします。

久保町民課長。

○町民課長(久保雅計君) 議案第7号 令和7年度白老町国民健康保険事業特別会計予算についてご説明いたします。別冊の特別会計の予算書をご覧ください。まず1ページをお開きください。令和7年度予算総額は歳入歳出それぞれ21億2,510万円の計上で、前年度と比較しまして1億5,090万円の減額でございます。

続きまして2ページ、3ページの「第1表 歳入歳出予算」と5ページから7ページの歳入歳出予算事項別明細書につきましては、記載のとおりでございますので説明は省略させていただきます。

それでは歳出から説明いたします。26ページをお開きください。1款総務費、1項1目一般管理費491万8,000円、(1)国保運営経費は、電算関係委託料80万6,000円の減などにより、前年度と比較して95万4,000円の減額であります。1項2目連合会負担金97万1,000円、前年度から2万7,000円の減額であります。

2項1目賦課徴収費1,491万5,000円、292万円の増です。(1)徴収事務職員経費965万2,000円、国保税徴収職員の人件費に係る経費で、人事院勧告などにより前年度に比較しまして118万3,000円の増額であります。28ページをお開きください。(2)賦課徴収事務経費526万3,000円、国保税賦課徴収に係る経費で、集計業務委託料の増や会計年度任用職員の一部事務見直しによる給与等の増などにより、前年度と比較し173万7,000円の増額であります。

3項1目運営協議会費17万3,000円、本年度は開催を前年度の2回から保険税改定に伴う開催回数増を見込み5回としたことにより、前年度と比較し9万2,000円の増であります。

続いて30ページになります。4項1目医療費適正化特別対策事業費468万2,000円、(1)レセプト点検経費は、レセプト点検職員1名分の人件費などで前年度と比較し、人事院勧告などにより61万9,000円の増額であります。

続いて32ページをお開きください。2款保険給付費、歳出の保険給付費の財源は道支出金により補填されることとなっております。1項1目療養給付費12億7,601万円、昨年の実績見合いから前年度比1億2,222万5,000円、8.7%減の計上であります。2目療養費688万2,000円、実績見合いから前年度比78万9,000円、10.3%減の計上であります。3目審査支払手数料331万7,000円、前年度比25万3,000円、7.1%減の計上であります。

2項1目高額療養費2億888万7,000円、実績見込みにより前年度比2,191万1,000円、

9.5%減の計上であります。2目高額介護合算療養費20万円、前年度同額でございます。

3項1目移送費10万円、前年度同額でございます。

続いて34ページ、4項1目出産育児一時金750万4,000円、15名分で計上しており、前年度と同額で見込んでおります。

5項1目葬祭給付費150万円、実績見込みにより50名分を前年度と同額で見込んでおります。

続いて36ページをお開きください。3款国民健康保険事業費納付金です。事業費納付金は毎年度、北海道が道全体の医療費から国庫補助などを差し引き、所得水準や医療費水準などを考慮して算定し、各市町村に提示されます。令和7年度総額5億795万6,000円で財源としては保険者努力支援制度などの道支出金、保険基盤安定分などの一般会計繰入金及び国民健康保険税であります。1項1目医療給付費分3億8,632万4,000円の計上で、前年度に比べ4,161万2,000円、9.7%減であります。2目後期高齢者支援金等分9,382万4,000円の計上で、前年度に比べ1,165万6,000円、11.1%減であります。3目介護納付金分2,789万8,000円の計上で、前年度に比べ353万9,000円、11.3%減であります。

続いて38ページをお開きください。4款共同事業拠出金、1項1目共同事業拠出金1,000円の計上であります。

続いて40ページをお開きください。5款財政安定化基金拠出金、1項1目財政安定化基金拠出金1,000円の計上であります。

続いて42ページをお開きください。6款保健事業費、1項1目特定健康診査等事業費1,926万9,000円、前年度に比べ94万3,000円の増で、(1)特定健康診査事業経費1,515万6,000円、業務量単価の増や郵便料金改正などにより前年度と比較し53万円の増額であります。(2)特定健康診査等未受診者対策事業経費411万3,000円、会計年度任用職員の看護師による未受診者宅への訪問を中心とした事業内容であることから、本事業での経費負担として報酬が人事院勧告による単価改正もあり、82万8,000円の増、給料及び手当は賦課徴収事務経費への一部移行による減などがありますが、41万3,000円の増額となっております。

続いて44ページです。2項1目保健衛生普及費1,768万4,000円、前年度に比べ141万4,000円の増で、(1)健康づくり指導経費647万1,000円、予防接種業務委託料の単価増などにより85万1,000円の増であります。(2)国保保健指導事業経費965万2,000円、会計年度任用職員の看護師に係る報酬や旅費は、特定健康診査等未受診者対策事業経費に移行したことによる減であります。続いて47ページです。(3)国保ヘルスアップ事業経費156万1,000円、郵便料金改正による通信運搬費の増などにより、前年度比4万3,000円増の計上であります。

続いて48ページ、7款基金積立金、1項1目国民健康保険事業基金積立金6万2,000円、定期預金金利の上昇により、前年度比6万1,000円増の計上であります。

続いて50ページをお開きください。8款公債費、1項1目利子2万円、前年度と同額の計上であります。

続いて52ページをお開きください。9款諸支出金、1項1目国民健康保険税還付金124万7,000円、近年の実績により前年度比21万7,000円増の計上であります。2目償還金1000円、前年度同額の計上であります。2項1目直営診療施設勘定繰出金4,600万円、うち600万円は町立病院の救急患者受入れ体制支援事業や医師等確保支援事業等に対して特別調整交付金を受けるもので、国保会計で申請し町立国民健康保険病院事業会計に繰り出しするものであります。毎年、補正予算で計上しておりましたが、今年度より当初予算に計上しております。また4,000万円につきましては、町立病院の総合医療情報システム導入事業実施に伴う経費のうち、2分の1を補助するもので、こちらも国保会計で申請し、特別調整交付金を受け、病院会計に繰り出すものであります。財源につきましては、道支出金の特別調整交付金であります。

続いて54ページをお開きください。10款予備費、1項1目予備費280万円の計上です。歳出は以上でございます。

57ページ以降の給与費明細書につきましては、記載のとおりでありますので説明は省略させていただきます。

次に歳入を説明いたします。10ページをお開きください。1款国民健康保険税、1項1目一般被保険者国民健康保険税2億4,964万3,000円、加入対象拡大などの社会保険加入者の増加などに伴い、前年度と比較して5,673万6,000円の減、前年度比18.5%減の計上です。収納率につきましては、近年の実績から現年度分が94.1%、滞納繰越分が18.5%としております。

続いて12ページをお開きください。2目退職被保険者等国民健康保険税3万円、前年度比4万円の減額であります。

続いて14ページをお開きください。2款道支出金、1項1目保険給付費等交付金15億9,526万3,000円で、歳出の2款保険給付費を補填する普通交付金が15億360万円と、各保険者の取組に対して交付される特別交付金が9,166万3,000円の計上です。

続いて16ページをお開きください。3款財産収入、1項1目利子及び配当金6万2,000円、定期預金金利の上昇により、前年度比6万1,000円増の計上です。

続いて18ページをお開きください。4款繰入金、1項1目一般会計繰入金2億263万円、前年度比888万3,000円、4.2%の減額です。主な内容としまして、事務費分3,031万9,000円、職員人件費の増などにより、前年度と比較して396万6,000円の増額です。出産育児一時金分500万円、15人分を計上しております。財政安定化支援事業分4,118万8,000円で、前年度と比較して21万円の増額です。保険基盤安定分1億915万7,000円で、軽減世帯に係る国保加入者の減により、前年度と比較して1,477万4,000円の減額です。未就学児均等割保険税分は、未就学児の均等割が5割軽減になることに伴う影響額で、前年度実績から見込み38万3,000円を計上しております。福祉医療波及増嵩分1,658万3,000円で近年の実績により前年度と比較して176万8,000円の増額です。

2項1目国民健康保険事業基金繰入金、歳入全体から歳出全体を差し引いた不足分とし

て7,614万1,000円、前年度比854万7,000円の増となっております。

続いて20ページをお開きください。5款繰越金、1項1目繰越金1000円、前年度同額の計上であります。

続いて22ページをお開きください。6款諸収入、1項1目一般被保険者延滞金50万円、実績により前年度比20万円の減としております。1項2目退職被保険者等延滞金3万円、前年度と同額であります。

2項1目第三者納付金、2項2目返納金は前年度同額の計上であります。雑入は廃目としております。

以上で白老町国民健康保険事業特別会計予算の説明を終わらせていただきます。

○議長（小西秀延君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第7号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小西秀延君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第7号の議案説明を終わります。

日程第2、議案第8号 令和7年度白老町後期高齢者医療事業特別会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

久保町民課長。

○町民課長（久保雅計君） 議案第8号 令和7年度白老町後期高齢者医療事業特別会計予算について説明いたします。1ページをお開きください。令和7年度予算総額は、歳入歳出それぞれ4億1,725万3,000円の計上で、前年度と比較して705万3,000円の増額であります。

続きまして2ページ、3ページの「第1表 歳入歳出予算」、6ページから8ページの歳入歳出予算事項別明細書につきましては、記載のとおりでございますので、説明を省略させていただきます。

歳出から説明させていただきます。20ページをお開きください。1款総務費、1項1目一般管理費133万3,000円、保険証発行等を含む制度運営に要する経費で、前年の被保険者証が廃止となる制度周知の案内に関わる郵便料が減少となるため、前年度より45万6,000円の減を計上しております。

2項1目徴収費281万5,000円、保険料賦課徴収に要する経費で、会計年度任用職員の報酬や郵便料、賦課集計に係る委託料の増により、前年度と比較して26万2,000円の増額であります。

次に22ページをお開きください。2款分担金及び負担金、1項1目広域連合分賦金、北海道後期高齢者医療広域連合への負担金4億1,230万5,000円、724万7,000円の増額であります。内訳としまして、後期高齢者医療保険料負担金は、被保険者から徴収する保険料であります。被保険者数の増などにより2億9,180万9,000円、前年度と比較して308万2,000円の増額であります。続いて後期高齢者医療保険基盤安定負担金は、保険料の軽減措

置に対する財政支援分として納付するものでありますが、被保険者数の増などから1億850万8,000円、前年度と比較して235万円の増額であります。次に後期高齢者医療事務費負担金は、北海道後期高齢者医療広域連合の運営経費1,198万8,000円、前年度と比較して181万5,000円の増額であります。

次に24ページをお開きください。3款諸支出金、1項1目保険料還付金75万円、前年度同額の計上であります。

次に26ページをお開きください。4款予備費、1項1目予備費5万円、前年度同額の計上であります。歳出は以上でございます。

次に10ページをお開きください。歳入でございます。1款後期高齢者医療保険料、1項1目後期高齢者医療保険料2億9,130万8,000円、前年度と比較して308万2,000円の増額であります。現年分特別徴収保険料2億652万9,000円、前年度と比較して2万9,000円の減額であります。続いて現年分普通徴収保険料8,387万9,000円、前年度と比較して358万7,000円の増額で、収納率につきましては前年度と同様の98%を見込んでおります。滞納繰越分普通徴収保険料90万円、収納率につきましては過去3年の実績から30%を見込んでおります。

次に12ページをお開きください。2款繰入金、1項1目一般会計繰入金1億2,469万4,000円、397万2,000円の増額であります。まず事務費繰入金1,618万6,000円、歳出で申し上げました被保険者証が廃止となる制度周知に係る郵便料の減と広域連合への事務費負担金の増から、前年度と比較して162万2,000円の増額であります。次に保険基盤安定繰入金は、低所得者の方に対する保険料軽減措置のための経費で1億850万8,000円、前年度と比較して235万円の増額で負担割合は北海道が4分の3、町が4分の1となっております。

次に14ページをお開きください。3款繰越金、1項1目繰越金50万円、前年度同額の計上であります。

次に16ページをお開きください。4款諸収入につきましては、記載のとおり75万1,000円であります。雑入は廃項としております。

以上で令和7年度白老町後期高齢者医療事業特別会計予算の説明を終わらせていただきます。

○議長（小西秀延君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第8号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小西秀延君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第8号の議案説明を終わります。

日程第3、議案第9号 令和7年度白老町港湾機能施設整備事業特別会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

三上経済振興課長。

○経済振興課長（三上裕志君） 議案第9号 令和7年度白老町港湾機能施設整備事業特別会計予算についてご説明申し上げます。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ1,828万

3,000円で、前年度比602万5,000円の減となっております。

次に2ページ、3ページの「第1表 歳入歳出予算」と6ページ、7ページの歳入歳出予算事項別明細書につきましては、記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

それでは歳出から説明させていただきますので18ページをお開きください。1款港湾機能施設運営費、1項1目港湾機能施設運営費600万4,000円の計上で、前年度比181万3,000円の増となっております。10節需用費は光熱水費の単価アップによるもののほか、修繕費につきましては公共上屋の出入口及び換気扇の修繕により155万4,000円の増、17節備品購入費につきましては公共上屋の消火栓用ホースが耐用年数経過のため更新に伴う増となっております。

続きまして20ページでございます。2款公債費、1項1目元金1,136万8,000円、前年度比766万円の減、及び2目利子90万1,000円、前年度比17万8,000円の減につきましては、平成25年度借入れの起債償還終了に伴う減額となっております。

次に10ページにお戻りください。歳入でございます。1款使用料及び手数料、1項1目港湾使用料は、船舶給水施設使用料の実績見合いに伴い減となっております。

続きまして12ページ、2款財産運用収入、1項1目財産貸付収入は前年度同額となっております。

続きまして14ページ、繰入金ですが令和7年度においては、ただいまご説明しました1款及び2款の収入で全ての歳出を賄える見込みとなっているため、一般会計からの繰入金については計上しておりません。

最後に26ページをお開きください。地方債残高でございますが、令和7年度末の見込額は6,756万8,000円となっております。

説明は以上でございます。

○議長（小西秀延君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第9号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小西秀延君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第9号の議案説明を終わります。

日程第4、議案第10号 令和7年度白老町介護保険事業特別会計予算の議案について、説明をお願いいたします。

森高齢者介護課長。

○高齢者介護課長（森 誠一君） 議案第10号 令和7年度白老町介護保険事業特別会計予算につきましてご説明申し上げます。予算総額は、歳入歳出それぞれ25億1,518万2,000円で、前年度比5,906万円、2.4%の増となっております。

2ページ、3ページの「第1表 歳入歳出予算」と6ページ、7ページの歳入歳出予算事項別明細書総括につきましては、記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

だきます。

歳出から説明をさせていただきます。30ページをお開きください。1款総務費、1項1目一般管理費758万2,000円、前年度比177万5,000円の増額で、保険者業務端末更新に伴う経費及び会計年度任用職員人件費の増加などによるものであります。

2項1目賦課徴収費404万9,000円、前年度比31万8,000円の増額で、主に郵便料金の値上げ及び会計年度任用職員の報酬増によるものであります。

32ページをお開きください。3項1目介護認定審査会費323万3,000円、前年度比43万7,000円の増額であります。主に要介護認定管理ソフトのバージョンアップに係る委託料の増額によるものであります。2目認定調査費2,466万1,000円、前年度比230万7,000円の増額で介護認定調査員人件費及び介護認定調査委託の契約単価改定などによる増額であります。

34ページをお開きください。4項1目趣旨普及費4万3,000円で前年同額であります。

5項1目計画策定費230万4,000円で前年度比222万5,000円の増額になります。第10期介護保険事業計画策定に伴いまして、在宅介護実態調査を行います。その郵便料及び委託料による増額であります。

38ページをお開きください。2款保険給付費につきましては、第9期介護保険事業計画に基づきまして、総額23億1,965万4,000円、前年度比4,450万4,000円の増額となっております。

2款保険給付費、1項1目介護給付費20億6,709万2,000円、前年度比4,170万7,000円の増額で、要介護1以上の認定者の介護給付経費であります。2目介護予防給付費8,500万9,000円、前年度比38万5,000円の増額で、要支援1・2の認定者の介護予防給付経費であります。3目審査支払手数料181万4,000円、前年度比2万円の増額であります。

2項1目高額介護サービス費6,362万6,000円、前年度比91万8,000円の増額であります。

3項1目特定入所者介護サービス費9,467万6,000円、前年度比136万9,000円の増額で、要介護認定者で低所得段階の方が介護保険施設入所や短期入所を利用するときの食費及び居住費に対する補足給付費であります。40ページをお開きください。2目特例特定入所者介護サービス費1万円、3目特定入所者支援サービス費7万円、4目特例特定入所者支援サービス費1万円の計上は、前年度と同額となっております。

4項1目高額医療合算介護サービス費734万7,000円、前年度比10万5,000円の増額で、医療費と介護サービス費の自己負担額の合計額が上限額を超えた分を給付する経費であります。

42ページをお開きください。3款地域支援事業費、1項1目介護予防・生活支援サービス事業費6,926万8,000円、前年度比184万4,000円の増額で、訪問型・通所型サービス事業経費及びそれに伴う高額介護予防サービス費等の経費であります。新年度住民主体による訪問型サービスB・D提供事業者の経営安定化を図るため、助成単価300円を400円、500円を700円に引き上げることなどにより増額になります。2目介護予防ケアマネジメント事業

費202万6,000円、前年度比48万円の減額で、総合事業におけるケアマネジメント費であります。3目一般介護予防事業費2,410万5,000円、前年度比235万2,000円の増額で、職員人件費の増額などによるものであります。

46ページをお開きください。2項1目総合相談事業費1,461万3,000円、前年度比72万円の増額で、職員諸手当の増額などによるものであります。48ページをお開きください。2目権利擁護事業費27万1,000円、前年度比1,000円の増額であります。3目地域包括支援センター運営事業費5万9,000円、前年度比1,000円の増額であります。50ページをお開きください。4目任意事業費2,326万円、前年度比64万1,000円の増額で、家族介護支援事業と配食サービス、認知症サポーター養成などを行う、その他事業を計上しております。増額は地域見守りネットワーク講演会や検索模擬訓練の開催費用、高齢者等が行方不明になった際の検索に活用する見守り合いアプリの調査分析業務委託料等によるものであります。52ページをお開きください。5目在宅医療・介護連携推進事業費9万4,000円、前年度比2万5,000円の減額で、多職種連携研修の講演会などの経費となっております。6目生活支援体制整備事業費771万1,000円、前年度比178万2,000円の増額で、事業内容は生活支援体制協議体委員会の開催と生活支援コーディネーター活動経費で、増額分につきましては第10期高齢者保健福祉計画の策定準備として実施する介護予防日常生活圏域ニーズ調査の業務委託料によるものであります。7目認知症総合支援施策事業費1,047万7,000円、前年度比51万1,000円の増額です。認知症初期集中支援チームの運営や認知症カフェの開催経費等で、増額は職員諸手当の増加によるものです。54ページをお開きください。8目地域ケア会議推進事業費9万1,000円、前年度比2,000円の増額で、地域ケア会議推進に係る経費であります。

3項1目審査支払手数料20万円、前年度と同額で総合事業実施に伴う国保連合会への審査支払経費であります。

56ページをお開きください。4款基金積立金、1項1目介護給付費事業基金積立金15万円は、前年度比14万5,000円の増額です。基金積立金利息の増加を見込んでおります。

58ページをお開きください。5款公債費、1項1目利子1万円は前年度と同額であります。

60ページをお開きください。6款諸支出金、1項1目第1号被保険者保険料還付金131万円は前年度と同額で死亡、転出などに係る歳出還付であります。2目償還金は科目存置であります。

62ページをお開きください。7款予備費、1項1目予備費1万円は前年度と同額であります。

65ページ以降の給与明細書につきましては、記載のとおりで説明を省略させていただきます。

これで歳出を終わらせていただき、歳入の説明をいたします。10ページにお戻りください。1款介護保険料、1項1目第1号被保険者介護保険料4億2,340万3,000円、前年度比

689万7,000円の減額です。現年度分の介護保険料は、第9期介護保険事業計画に基づき、被保険者数7,040人、収納率99.2%を見込んでおります。

12ページをお開きください。2款分担金及び負担金、1項1目地域支援事業負担金607万6,000円は前年度と同額で、配食サービス事業の負担金となっております。

14ページをお開きください。3款国庫支出金、1項1目介護給付費負担金3億9,528万4,000円、前年度比688万2,000円の増額で、保険給付費に対する国の公費負担分であります。

2項1目調整交付金1億6,906万7,000円、前年度比349万円の減額になります。負担割合については基本5%ですが、後期高齢者比率が高いことによる給付増、被保険者の所得水準が低いことによる収入減を調整するもので、新年度は7%を見込んでおります。

2目地域支援事業交付金（総合事業）1,912万円、前年度比74万3,000円の増額で、総合事業費に対する国の公費負担分であります。3目地域支援事業交付金（総合事業以外の地域支援事業）1,944万3,000円、前年度比139万9,000円の増額で、総合事業以外の地域支援事業費に対する国の公費負担分であります。4目保険者機能強化推進交付金253万4,000円、前年度比17万1,000円の増額であります。保険者機能強化に向けて高齢者の自立支援、重症化防止の取組を推進するための交付金であります。5目介護保険保険者努力支援交付金403万1,000円、前年度比99万3,000円の増額で、先に説明しました保険者機能強化のうち健康づくりや予防について特に推進するための交付金であります。

16ページをお開きください。4款道支出金、1項1目介護給付費負担金3億5,860万3,000円、前年度比758万1,000円の増額であります。保険給付費に対する道の公費負担分であります。

2項1目交付金及び2目貸付金は、いずれも科目存置であります。

3項1目地域支援事業交付金（総合事業）1,195万円、前年度比46万4,000円の増額で、総合事業に対する道の公費負担分であります。2目地域支援事業交付金（総合事業以外の地域支援事業）972万2,000円、前年度比70万円の増額で、総合事業以外の地域支援事業費に対する道の公費負担分であります。

18ページをお開きください。5款支払基金交付金、1項1目介護給付費交付金6億2,630万7,000円、前年度比1,201万6,000円の増額と2目地域支援事業支援交付金2,581万2,000円、前年度比100万3,000円の増額につきましては、介護保険料第2号被保険者負担分であります。

20ページをお開きください。6款財産収入、1項1目利子及び配当金15万円、前年度比14万5,000円の増額で、介護保険事業基金の運用利息であります。

22ページをお開きください。7款繰入金、1項1目介護給付費繰入金2億8,995万7,000円で、前年度比556万3,000円の増額と2目地域支援事業繰入金（総合事業）1,195万円、前年度比46万4,000円の増額と3目地域支援事業繰入金（総合事業以外の地域支援事業）972万2,000円、前年度比70万円の増額は、町の負担分であります。4目低所得者保険料軽減繰入金3,179万1,000円、前年度比53万円の減額で、国・道・町負担による低所得者保険料軽減

繰入金であります。5目その他一般会計繰入金4,185万2,000円、前年度比704万2,000円の増額で、歳出で説明しました1款総務費に係る繰入金であります。

2項1目介護保険基金繰入金5,838万1,000円、前年度比2,409万1,000円の増額であります。

24ページをお開きください。8款繰越金、1項1目繰越金は科目存置であります。

26ページをお開きください。9款諸収入、1項1目第1号被保険者延滞金から3項2目返納金までは、いずれも科目存置であります。

4項1目釣銭資金貸付金元金収入は2万円の計上であります。

以上で令和7年度白老町介護保険事業特別会計予算の説明を終わらせていただきます。

○議長（小西秀延君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第10号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小西秀延君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第10号の議案説明を終わります。

日程第5、議案第11号 令和7年度白老町立介護医療院事業特別会計予算の議案について説明をお願いいたします。

本間病院事務長。

○病院事務長（本間 力君） 議案第11号 令和7年度白老町立介護医療院事業特別会計予算についてご説明いたします。介護医療院は、本年5月から開院することから、令和7年度の歳入歳出予算の総額は1億9,836万円と定めるものであります。

2ページ、3ページ、「第1表 歳入歳出予算」、4ページの「第2表 地方債」、5ページから7ページの歳入歳出予算事項別明細書は記載のとおりでありますので説明を省略させていただきます。

それでは、歳出からご説明させていただきます。22ページから23ページをお開き願います。1款総務費、1項1目一般管理費の予算額は1億7,127万1,000円で、前年度に比較しまして1億5,606万5,000円の増額であります。(1)介護医療院一般管理事務経費1億307万1,000円は職員8名及び会計年度任用職員6名分の人件費、介護支援システムの使用料等、一般管理経費を計上するものであります。続きまして25ページの(2)介護医療院整備事業6,820万円は、病院改築事業における介護医療院整備分を計上するものであります。

続きまして26ページ、27ページをお開き願います。2款サービス事業費、1項1目施設介護サービス事業費1,307万9,000円は新規計上であります。(1)施設介護サービス事業経費は、5月からの開院に当たり入所者14.6人と見込み、必要なサービス費用を計上するものであります。

続きまして28ページから29ページです。3款公債費、1項1目元金1,003万1,000円、899万4,000円の増額で、病院改築事業における介護医療院整備分の元金を計上するものであります。1項2目利子387万9,000円、336万7,000円の増額で、(1)長期債利子支払費は、介護

医療院整備分の利子と(2)の一時借入金支払費20万円を計上するものであります。

続きまして30ページから31ページ、4款予備費、1項1目予備費10万円の計上であります。

次の33ページから41ページの給与費明細書、それから43ページから44ページの地方債現在高見込額調書につきましては、記載のとおりですので説明を省略させていただきます。

続きまして歳入について説明いたします。10ページから11ページをお開き願います。1款サービス収入6,994万3,000円であります。令和7年度当初予算におきましては、5月からの開院に当たり入所者14.6人、平均介護度4.1として年間329日で設定し歳入予算を計上しております。1項1目施設介護サービス費5,945万2,000円あります。2項1目自己負担金収入1,049万9,000円あります。

続きまして12ページから13ページ、2款使用料及び手数料、1項1目使用料210万円あります。

続きまして14ページから15ページ、3款繰入金、1項1目一般会計繰入金1億900万円あります。運営費の不足分5,800万円、介護医療院整備事業分5,100万円を見込むものであります。

続きまして16ページから17ページ、4款諸収入11万7,000円、1項1目介護保険受託収入4万円あります。主治医意見書作成料の過去の実績を勘案し計上しております。2項1目預金利子1,000円は科目存置であります。3項1目雑入7万6,000円あります。職員の雇用保険料本人負担分などの計上であります。

続きまして18ページから19ページ、5款町債、1項1目介護サービス事業債1,720万円あります。介護医療院整備事業債分の計上であります。

説明は以上でございます。

○議長(小西秀延君) 議案の説明が終わりました。

これより議案第11号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(小西秀延君) 質疑なしと認めます。

これをもって議案第11号の議案説明を終わります。

日程第6、議案第12号 令和7年度白老町水道事業会計予算の議案について説明をお願いいたします。

山本上下水道課長。

○上下水道課長(山本康正君) 令和7年度白老町水道事業会計予算について説明をさせていただきます。予算書の1ページをお開き願います。第2条からになります。業務の予定量、(1)給水戸数は、8,669戸。(2)年間総給水量は、206万4,525立方メートルでいずれも実績見合いによるものです。(3)1日平均給水量は、5,656立方メートル。(4)主要な建設改良事業は、配水施設改良事業が4,461万6,000円、浄水施設整備事業が5,717万8,000円、量水器整備事業が5,829万5,000円あります。

続いて2ページ、第3条収益的収入及び支出の予定額であります。収入、第1款水道事業収益は4億9,067万8,000円。支出、第1款水道事業費用は3億7,185万3,000円であります。なお、当該年度末における利益剰余金は1億2,160万7,000円を見込んでおります。

次に第4条資本的収入及び支出の予定額であります。収入、第1款資本的収入は5,000万円。支出、第1款資本的支出は2億3,836万2,000円であります。第4条の本文括弧書きに記載のとおり収支の不足額1億8,836万2,000円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填するものであります。

続きまして3ページ、第5条企業債、第6条一時借入金、第7条予定支出の各項の経費の金額の流用、第8条議会の議決を経なければ流用することのできない経費、第9条他会計からの補助金、第10条たな卸資産購入限度額については、記載のとおりでございます。

4ページの令和7年度白老町水道事業会計実施計画から16ページの注記までにつきましては、記載のとおりでありますので説明を省略させていただきます。

続いて20ページをお開きください。水道事業会計予算事項別明細書の(3)収益的支出から説明いたします。1款水道事業費用、1項1目給与費7,262万7,000円、前年比1,140万7,000円の増額であります。主に給料、職員手当、報酬等の増額であります。次に2目原水及び浄水費7,230万5,000円、前年比257万9,000円の増額であります。白老浄水場配水池清掃業務委託実施のための増であります。次に21ページ、3目配水及び給水費2,470万4,000円、前年比198万円の増額であります。配・給水管の事故復旧に係る経費の実績見合い分の増であります。4目受託工事費45万1,000円で前年同額の計上であります。次に22、23ページです。5目総係費2,143万円、前年比466万5,000円の減額であります。昨年度実施した水道料金負担軽減臨時支援事業実施に要する必要経費分の減額であります。23ページ、6目減価償却費1億5,236万3,000円、前年比539万円の増額であります。内訳は右に記載のとおりでございます。次に7目資産減耗費609万3,000円、前年比91万1,000円の減額であります。老朽管等の更新に伴う資産除却費であります。

続いて24ページ、2項営業外費用、1目支払利息及び企業債取扱諸費は、1,320万4,000円、前年比16万7,000円の増額であります。実績見合いであります。2目雑支出であります。過年度料金還付見込分1万1,000円の計上であります。3目消費税800万円、前年同額であります。

3項特別損失、1目過年度損益修正損は11万円、前年比2万2,000円の増額です。過年度分水道料金調定減見込分の予算計上であります。2目その他特別損失ですが水道料金不納欠損見込額5万5,000円の計上であります。

4項1目予備費50万円、前年同額であります。

続いて18ページに戻っていただきまして、(2)収益的収入についてご説明します。1款水道事業収益、1項1目給水収益3億5,494万8,000円、前年比1億715万1,000円の増額であります。9月徴収分からの平均26.1%の料金改定における収入増を見込んでおります。次に2目受託工事収益183万7,000円で前年同額であります。3目その他の営業収益13万円、

前年同額であります。

続いて2項営業外収益、1目受取利息及び配当金1万2,000円、前年比8,000円の増であります。次に2目他会計補助金8,000万円、前年比1,510万円の増、水道料金改定補填分として一般会計からの繰入金であります。次に3目長期前受金戻入2,558万4,000円、前年比67万3,000円の減額であります。補助金により取得した資産の減価償却見合い額を計上するものであります。次に4目雑収益2,816万6,000円、前年比516万4,000円の増額であります。下水道使用料の調定業務に係る受託収入であります。

続いて3項特別利益、1目過年度損益修正益1,000円は前年同額の予算計上であります。

これで収益的収支の説明を終わり、次に資本的収支に入ります。26ページをお開きください。(5)資本的支出から説明いたします。1款資本的支出、1項1目配水施設改良費4,461万6,000円、前年比4,250万4,000円の減、配水管更新事業整備は、北吉原及び石山地区において老朽管更新を進めてまいります。次に2目浄水施設整備費5,717万8,000円、前年比3,396万8,000円の増額であります。浄水場施設の更新を行ってまいります。3目量水器整備費5,829万5,000円、前年比112万1,000円の減額であります。量水器更新に係る費用であり、実施予定見込み分の計上であります。

次に2項1目企業債償還金7,827万3,000円、前年比162万5,000円の減額であります。なお、企業債元金の未償還残高は、令和6年度末で約9億9,990万4,000円となっております。

最後に25ページに戻りまして、(4)資本的収入であります。1款資本的収入、1項1目企業債は5,000万円、前年比5,000万円の減額であります。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長(小西秀延君) 議案の説明が終わりました。

これより議案第12号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(小西秀延君) 質疑なしと認めます。

これをもって議案第12号の議案説明を終わります。

日程第7、議案第13号 令和7年度白老町国民健康保険病院事業会計予算の議案について説明をお願いいたします。

本間病院事務長。

○病院事務長(本間 力君) 議案第13号 令和7年度白老町国民健康保険病院事業会計予算についてご説明いたします。令和7年度の病院事業会計予算につきましては、収益的収入及び支出の第3条予算に資本的収入及び支出の4条予算を加えた予算編成であります。

まず、1ページの第2条に記載する業務の予定量につきましては、(1)病床数は、8床減の40床に改めております。また、(3)の1日平均患者数につきましては、入院は前年度より10人増の36人、外来は前年度より1人減の124人と設定しております。それに伴い、(2)年間患者数は、入院患者数が前年度より3,650人増の1万3,140人、外来患者数につきましては前年度より471人減の2万9,904人となっております。

第3条の収益的収入及び支出の予定額であります。収入の第1款病院事業収益は12億7,202万6,000円。支出の第1款病院事業費用は14億9,223万3,000円であります。詳細の説明につきましては、後ほど事項別明細により説明させていただきます。

2ページ、第4条の資本的収入及び支出の予定額であります。収入の第1款資本的収入は4億5,039万3,000円、支出の第1款資本的支出は4億7,766万9,000円であります。こちらでも詳細につきましては後ほど事項別明細で説明させていただきます。

第5条の継続費の設定につきましては、病院改築事業のⅡ期分における年割額を令和7年度3億2,482万円、令和8年度2億1,183万8,000円、総額5億3,665万8,000円と定めるものであります。

第6条の債務負担行為につきましては、令和7年度で導入予定の電子カルテに係る保守業務で、令和12年まで7,200万円と定めるものであります。

次に3ページ、第7条企業債につきましては、町立病院改築事業のⅡ期事業分として限度額6,450万円。情報システム等導入事業で限度額6,370万円。収支不足解消のための経営改善推進事業として1億7,976万6,000円を計上するものであります。起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおりとなっております。

続きまして第8条一時借入金から4ページの第13条重要な資産の取得及び処分につきましては、記載のとおりでありますので説明を省略させていただきます。

次に5ページ、6ページの令和7年度白老町国民健康保険病院事業会計実施計画書、7ページの予定キャッシュフロー計算書、8ページから12ページの給与費明細書、13ページの継続費に関する調書、14ページの債務負担行為に関する調書、15ページの令和6年度の予定損益計算書、16ページから20ページまでの令和6年度の予定貸借対照表、令和7年度の予定貸借対照表の注記につきましては、記載のとおりでありますので説明を省略させていただきます。

続きまして21ページですが、病院事業会計予算事項別明細書になっております。(1)総括表につきましては説明を省略させていただきます。

それでは24ページの(3)収益的支出から説明させていただきます。なお、説明欄に記載する支出の内訳につきましては、これまで部門別で掲載しておりましたが、予算配分割合と執行上で年々変動が生じることから、今回は一括で掲載しておりますのでご了承願います。

第1款病院事業費用、1項医業費用、1目給与費は予定額6億8,164万9,000円であり、前年度比較9,803万5,000円の増額となっております。給与費につきましては正職員51名、報酬支払のパートを含む会計年度任用職員が22名、全体で73名となっており、令和6年度当初69名で前年度比較4名増となっております。25ページ、2目材料費は予定額が5,066万7,000円であり、前年度比較469万9,000円の増額であります。主な増額要因としましては、薬品費、診療材料費を令和6年度の実績見合いで計上しております。26ページ、3目経費は予定額が4億8,887万5,000円であり、前年度比較1億5,938万円の増額であります。主な

増額要因としましては、新病院開院に伴う施設管理費で、前年度比45%増の約4,300万円増の1億3,753万7,000円を見込み、そのほか移設等の経費として4,153万3,000円。また、新たに病院経営改善に向けた院内研修、広報紙発行経費などの普及活動経費として738万2,000円の増額となっております。続きまして28ページ、4目減価償却費は予定額1億789万8,000円であり、前年度比較8,418万9,000円の増額であります。新病院の完成に伴い、建物及び機器、備品に係る減価償却費の増額によるものであります。続きまして5目資産減耗費は予定額1億3,958万5,000円であり、前年度比較1億3,898万5,000円の増額であります。たな卸資産減耗費のほか、現行の病院解体に伴う建物及び構築物、機器、備品に係る除却費の増額によるものであります。6目研究研修費は予定額149万円であり前年度比較3万9,000円の減額であります。

続きまして2項医業外費用であります。予定額2,181万9,000円であり、前年度比較406万1,000円の増額であります。内訳ですが1目支払利息及び企業債取扱諸費につきましては予定額1,679万9,000円であり、前年度比較606万1,000円の増額であります。2目雑損失は、前年度と同額の2万円を計上しております。3目消費税は予定額500万円であり、前年度比較200万円の減額であります。

続きまして3項特別損失であります。予定額15万円であり、前年度比較1億2,570万7,000円の減額であります。1目過年度損益修正損は予定額10万円であり、前年度比較1億2,575万7,000円の減額であります。これは令和5年度での北海道厚生局による適時調査に係る令和6年度の返還金分の減額であります。

4項1目予備費は前年度同額の10万円の計上であります。

以上で収益的支出の説明を終わりました。22ページにお戻り願います。(2)収益的収入について説明いたします。1款病院事業収益、1項医業収益は8億2,488万5,000円であり、前年度比較1億2,240万3,000円の増額となっております。患者数の見込みにつきましては、これまでの実績を考慮し、医療費の単価の見直しを図るとともに、令和7年度では大幅な経営改善に着手するため、特に入院収益について目標を高く設定したところであります。従いまして、入院1日平均患者数を36人、外来1日平均患者数を124人と設定し、計上しております。1目入院収益は予定額4億2,540万5,000円で、前年度比較6,770万5,000円の増額であります。2目外来収益は予定額2億3,325万1,000円で、前年度比較3,101万2,000円の減額であります。3目他会計負担金は予定額1億271万8,000円で、前年度は2項医業外収益、4目他会計負担金に計上していましたが組替えによる皆増であります。4目その他医業収益は予定額6,351万1,000円で、前年度比較1,700万8,000円の減額であります。

次に2項医業外収益は予定額4億4,714万円であり、前年度比較1,044万3,000円の増額であります。1目受取利息及び配当金は前年度と同額の1,000円で科目存置であります。2目他会計負担金は予定額1億6,558万2,000円で、前年度に4目他会計補助金で見込んでいた額の組替えによる皆増であります。3目道補助金は予定額1,000円で科目存置であります。4目他会計補助金は予定額8,935万8,000円で科目の整理により3億1,909万円の減額であ

ります。5目患者外給食収入につきましては前年度実績見合いで359万円を計上しております。6目長期前受金戻入は予定額850万8,000円であり、前年度比較1,503万9,000円の減額であります。7目その他医業外収益は予定額1億8,010万8,000円であり、前年度比較1億7,939万9,000円の増額であります。資金不足解消のための経営改善推進事業債1億797万6,000円を予定するものであります。

3項特別利益、1目過年度損益修正益は、予定額1,000円であり科目存置であります。これで収益的収入と支出の説明を終わります。

次に29ページ、30ページの(4)資本的収入及び(5)資本的支出について説明いたします。先に30ページの資本的支出からご説明いたします。1款資本的支出、1項1目施設整備費3億3,264万2,000円で、病院改築事業分3億2,602万円、医療系ネットワーク整備事業分として662万2,000円となっております。1項2目有形固定資産購入費1億124万2,000円は、電子カルテ導入に係る経費の計上となっております。

2項1目企業債償還金4,378万5,000円は、病院改築事業分の返済であります。

次に29ページの資本的収入であります。1款資本的収入、1項1目出資金は予定額1億9,210万円であります。一般会計からの出資金であります。内訳としまして都市構造再編集集中支援事業補助金分1億2,770万円、過疎債分6,440万円となっております。

2項1目企業債は予定額1億2,820万円で、改築事業分6,450万円、電子カルテ導入分6,370万円を見込んでおります。

3項1目他会計負担金は予定額9,009万3,000円で、企業債元金償還分として一般会計から2,189万3,000円、介護医療院整備分として介護医療院事業特別会計から6,820万円を見込んでおります。

4項1目他会計補助金は予定額4,000万円で、電子カルテ導入分における国保調整交付金分を見込んでおります。

以上で病院事業会計の予算の説明を終わらせていただきます。

○議長（小西秀延君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第13号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小西秀延君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第13号の議案説明を終わります。

日程第8、議案第14号 令和7年度白老町下水道事業会計予算の議案について説明をお願いいたします。

山本上下水道課長。

○上下水道課長（山本康正君） 令和7年度白老町下水道事業会計予算についてご説明いたします。予算書の1ページをお開きください。第2条からになります。業務の予定量、(1)年間総処理水量は206万1,954立方メートル、(2)一日平均処理水量は5,634立方メートルで、いずれも実績見合いによる減を見込んでおります。(3)排水区域面積は842ヘクタール、

(4) 主要な建設改良事業は2億3,990万9,000円で、マンホールポンプ所電気設備改築工事などを予定しております。

続いて2ページをお開きください。第3条の収益的収入及び支出の予定額であります。収入、第1款下水道事業収益は10億6,348万5,000円、支出、第1款下水道事業費用は10億6,318万3,000円であります。なお、当年度末における利益剰余金は1億1,888万3,000円を見込んでおります。

次に第4条の資本的収入及び支出の予定額であります。収入、第1款資本的収入は3億8,096万円、支出、第1款資本的支出は6億6,251万8,000円であります。第4条の本文括弧書きに記載のとおり、収支の不足分2億8,155万8,000円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填するものであります。

次に3ページになります。第5条債務負担行為、以下、第6条企業債、第7条一時借入金、第8条予定支出の各項の経費の金額の流用、第9条議会の議決を経なければ流用することのできない経費、第10条他会計からの補助金については、記載のとおりでございます。

4ページの令和7年度白老町下水道事業会計実施計画から16ページの注記までにつきましても記載のとおりですので、説明を省略させていただきます。

次に19ページをご覧ください。事項別明細書の(3)収益的支出から説明いたします。第1款下水道事業費用、1項1目管渠費、本年度予定額8,341万3,000円、前年比1,463万5,000円の増額であります。本年度の主な予定工事は、基本、継続事業であります。不明水対策として若草及び社台地区において公共汚水柵の更新、竹浦及び白老地区において管渠施設の取替及び補修工事を進め、道路の平坦性確保からマンホール高さ調整工事も予定しております。次に19ページから20ページになりますが、2目処理場費2億2,554万1,000円、前年比92万4,000円の増額であります。委託料、汚泥処分業務費等の単価・物価上昇見合い分の増及び工事請負費の減であります。3目総係費6,402万6,000円、前年比789万3,000円の増額で、退職手当組合負担金と下水道使用料賦課徴収業務委託料の増によるものであります。続きまして21ページ、4目減価償却費6億1,731万6,000円、前年比842万3,000円の減額であります。内訳は説明欄に記載のとおりであります。5目資産減耗費77万5,000円、前年比123万4,000円の減額であります。マンホール内ポンプ改築に伴う機械及び装置の資産除去であります。

次に2項営業外費用、1目支払利息及び企業債取扱諸費4,492万8,000円、前年比729万4,000円の減額であります。企業債償還に係る支払利息の減であります。2目消費税及び地方消費税2,588万4,000円、前年比4万7,000円の減額であります。

続いて3項特別損失、1目過年度損益修正損30万円は前年比20万円の増額であります。

4項1目予備費につきましては100万円で前年同額の計上であります。

次に18ページに戻っていただきまして、(2)収益的収入について説明いたします。1款下水道事業収益、1項1目下水道使用料3億9,469万2,000円、前年比1,554万円の増額、前年度実績見合いによる増額であります。2目他会計負担金1億615万円、前年比1,104万

3,000円の減額、一般会計からの雨水処理に要する負担金の減であります。3目受託事業収益2,084万3,000円、前年比31万3,000円の減、し尿処理の実績見合いによる減であります。4目その他営業収益391万9,000円、前年比7万8,000円の減額であります。

続いて2項営業外収益、1目受取利息及び配当金は預金利息1,000円の計上で科目存置であります。2目他会計補助金1億9,294万2,000円、前年比4,201万7,000円の減額であります。公債費に係る一般会計繰出金の減であります。3目長期前受金戻入3億4,442万円、前年比10万5,000円の増額であります。補助金により取得した資産の減価償却見合い額を計上するものであります。4目雑収益41万8,000円、前年比20万円の増、工事に伴うスクラップ売払い収入の実績見合いによる増であります。

3項1目特別利益10万円は前年同額であります。

これで収益的収支の説明を終わりました、次に資本的収支であります。23ページから24ページになります。(5)資本的支出から説明いたします。第1款資本的支出、1項1目施設整備費2億3,990万9,000円、前年比2,519万7,000円の増額であります。主に委託料の増額であります。今年度の主な事業は、終末処理場耐震診断調査、マンホールポンプ所の電気設備改築などに着手してまいります。

2項1目企業債償還金4億2,132万8,000円、前年比2,501万6,000円の減であります。なお、起債元金の未償還残高は令和6年度末で約33億6,120万円となっております。

最後に22ページに戻っていただいて、(4)資本的収入についてご説明いたします。1款資本的収入、1項1目企業債2,590万円、前年比1,620万円の減であります。特別措置分を借り入れないことによる減であります。

次に2項1目国庫補助金9,600万円、前年比1,050万円の増であります。補助事業の増によります。

次に3項1目他会計補助金2億5,825万6,000円、前年比4,880万2,000円の増額であります。起債償還額の実績見合いによる増であります。

4項1目受益者負担金は80万4,000円で前年比6万4,000円の増額であります。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（小西秀延君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第14号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小西秀延君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第14号の議案説明を終わります。

◎閉会の宣告

○議長（小西秀延君） 以上をもって定例会3月会議の議案説明は全て終了いたしました。

これをもって議案説明会を終了いたします。

(午前11時20分)